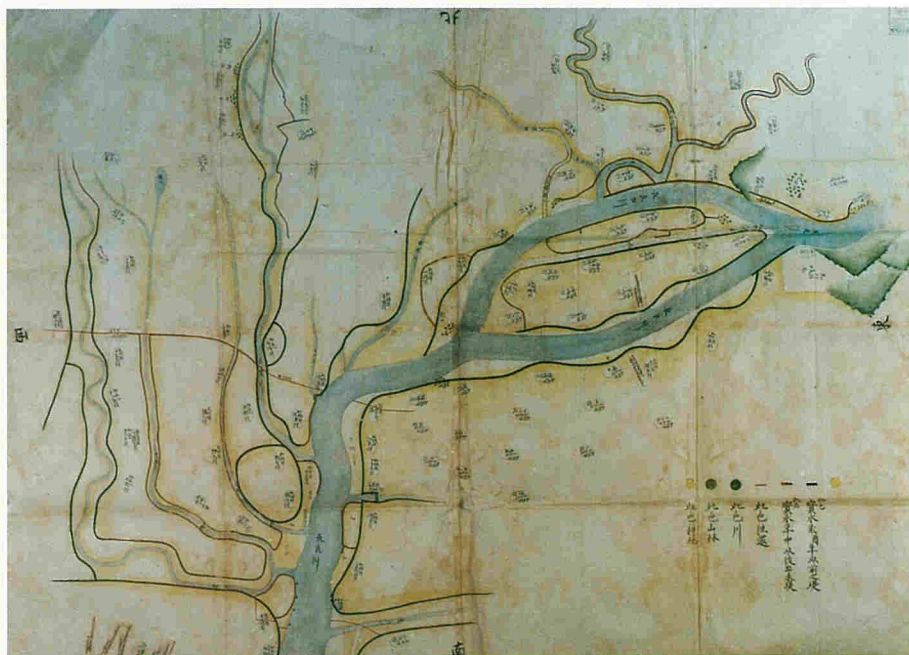


汶阜市

鷺山史誌



空から眺めた鷺山（中日新聞本社提供）



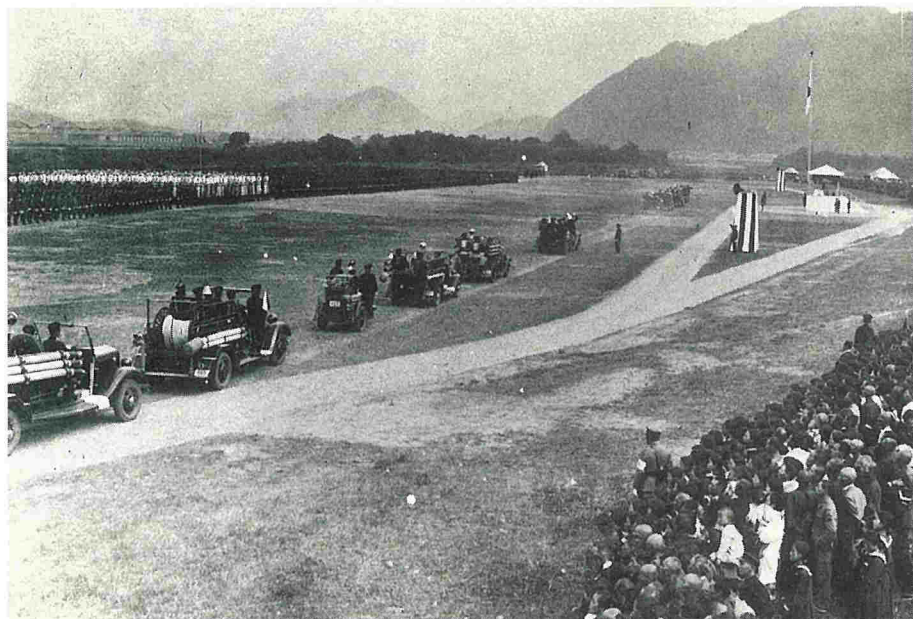
長良川通堤色分図（岐阜県立歴史資料館提供）



9・12災害、鷺山小学校に避難（豊吉茂久氏提供）



昭和32年4月天皇陛下川島紡績株式会社御視察（川島紡績株式会社提供）



梨本宮県消防御検閲昭和13年10月10日鷲山長良川廃川敷（大日本消防協会岐阜県支部提供）



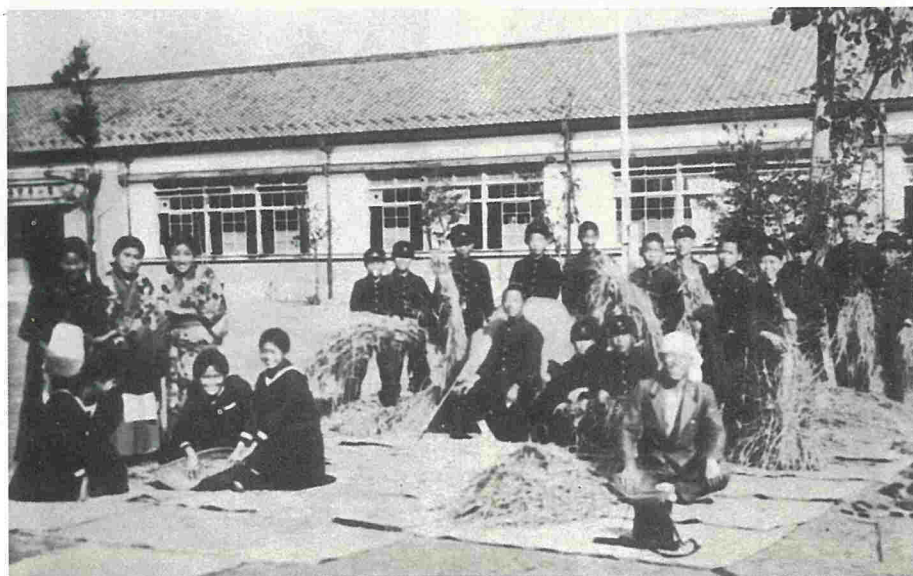
山上の村立鷺山尋常小学校（川島義雄氏提供）



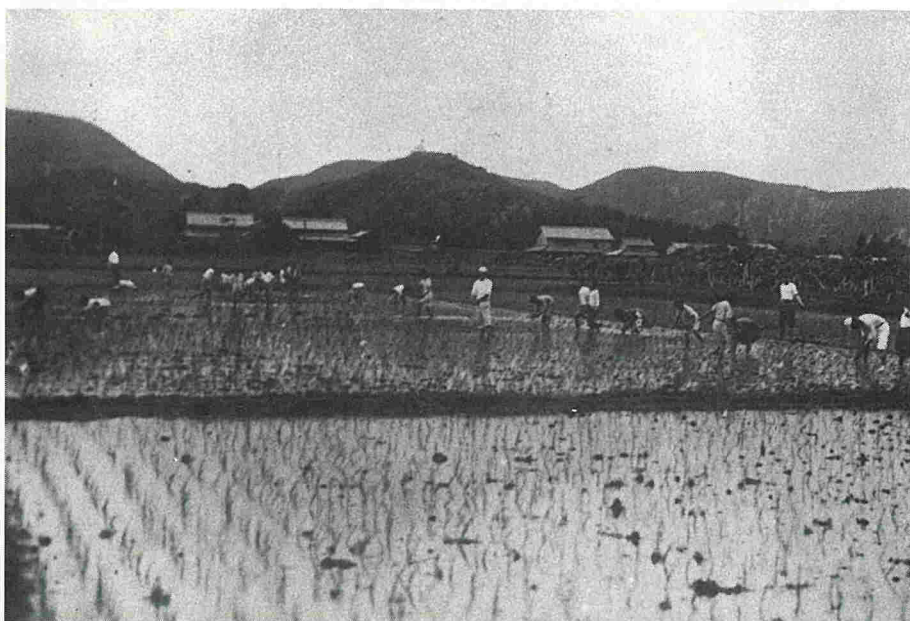
昭和15年頃鷺山小学校（森田 操氏提供）



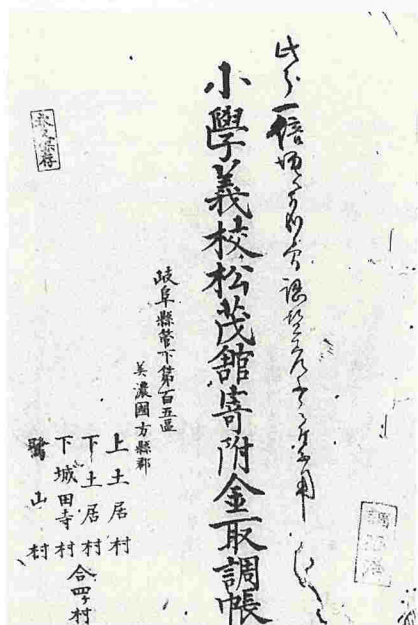
昭和14年古々川の鷺山小学生の開墾作業（鷺山小学校提供）



昭和14年鷺山小学生の食糧増産（鷺山小学校提供）



昭和14年鷺山小学生勤労奉仕（鷺山小学校提供）



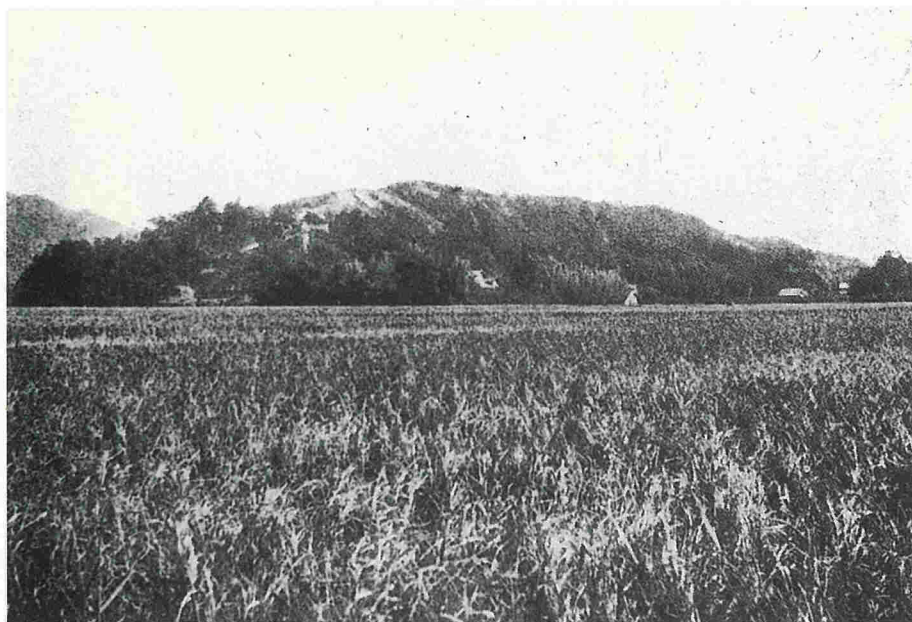
松茂館寄付金帳（常磐小学校提供）



昭和14年鷺山小学校の生徒鍛練
（鷺山小学校提供）



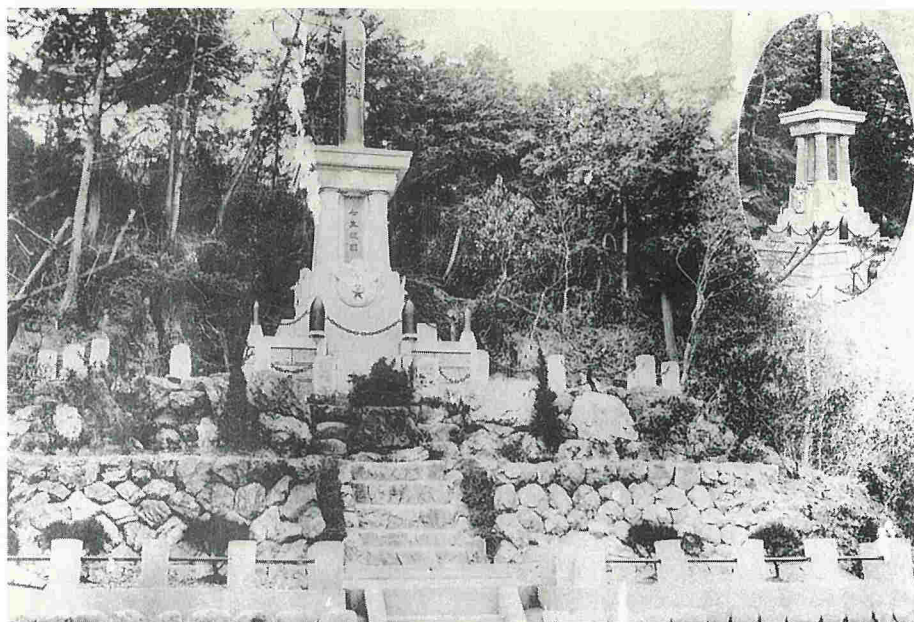
絵ハガキ複製長良川、古々川、古川の分流（岐阜県立図書館所蔵提供）



美濃稲葉郡志写真複製大正初期頃の鷺山（岐阜県立図書館所蔵提供）



奉公の塔（平野 豊氏提供）



昭和2年忠魂碑除幕式記念（森田 操氏提供）



昭和62年航空写真、中央は川島紡績株式会社（川島紡績株式会社提供）



飛行機の上よりながめた昭和初めころの岐阜市の全景。上より古々川、古川、長良川。

（郷土出版社提供）



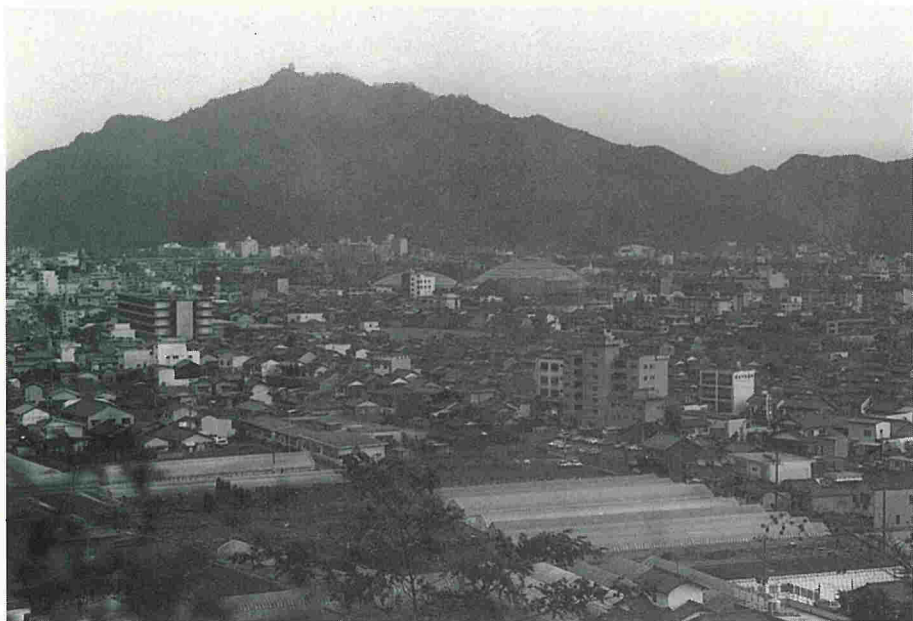
岐阜市教員滑空班結成式、中央は岐阜市助役 東 前豊（野々村美英氏提供）



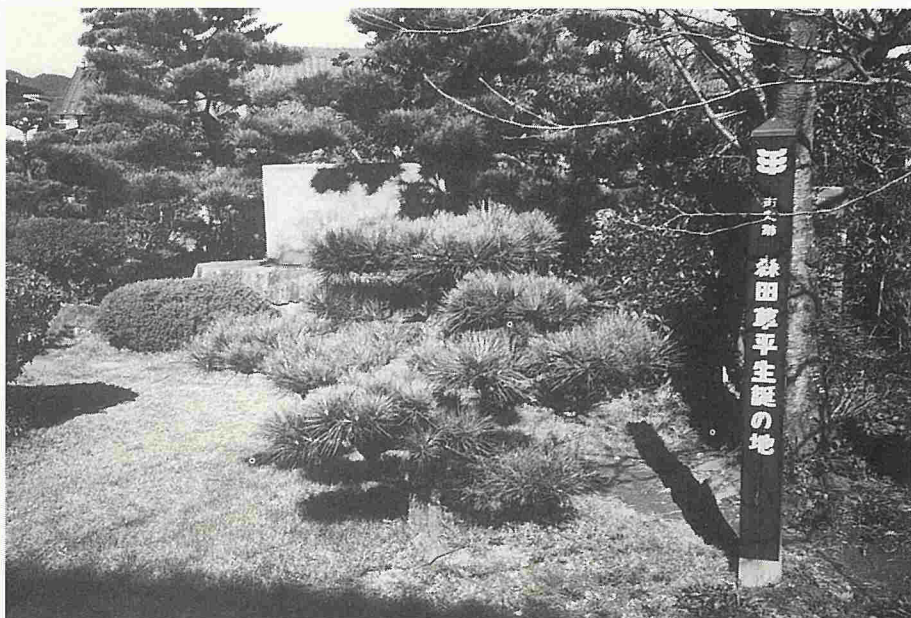
昭和17年9月3日（航空記念日）滑空機（グライダー）飛行大会（野々村美英氏提供）



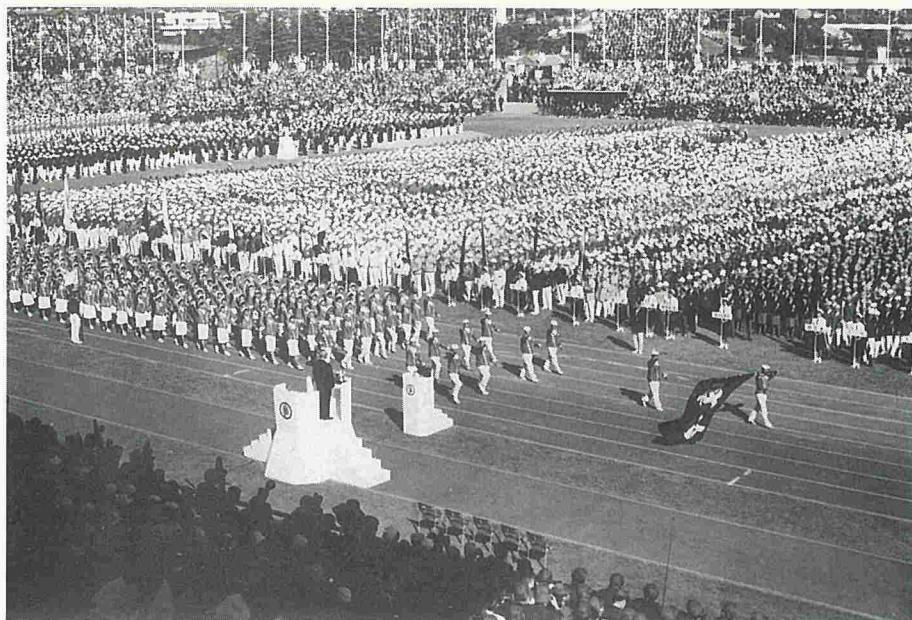
清洲町住宅公団建築中の風景（岐阜市史複製）



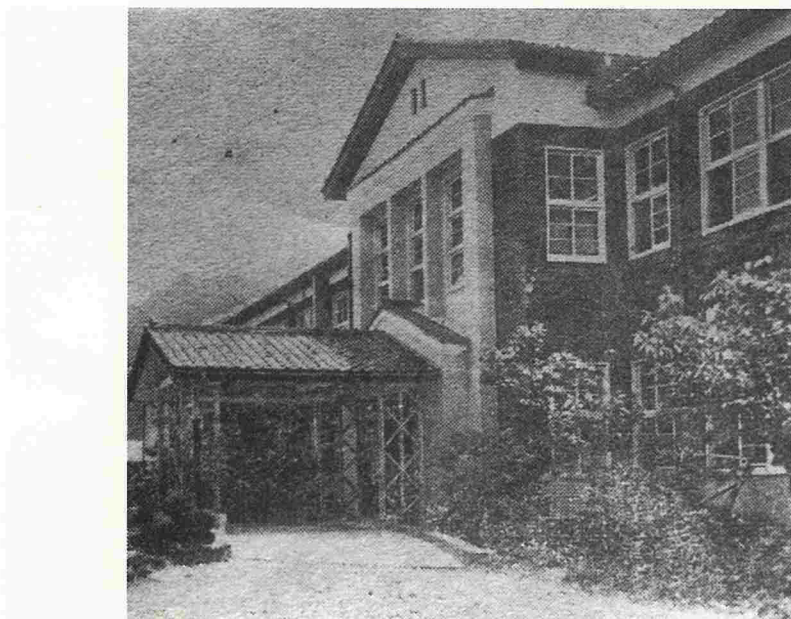
清洲地区発展風景（棚橋良和氏提供）



森田草平記念館（平野 豊氏提供）



昭和40年岐阜国体入場式（岐阜市役所広報課提供）



長良中学校（玄関前）（船渡真吉氏宅提供）



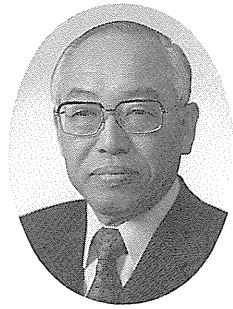
青山中学校（天野敬也氏提供）



昭和40年第20回岐阜国体に整備された県営グランド場。鷺山、長良、早田地区の境界は、野球場の西側にある1本松（岐阜県教育委員会提供）



昭和63年自7月8日～至9月18日未来博会場（岐阜新聞提供）



鷺山史誌の発刊によせて

岐阜市長 蒔田 浩

「岐阜市鷺山史誌」が、地域の人々の手によって発刊されますことは、誠に御同慶にたえません。私はこの企画・編集・執筆等にあたられました関係各位の御熱意・御努力に対し、心から敬意を表するものであります。

御承知のように、鷺山は、南の長良川、北の鳥羽川にはさまれた位置にあり、古川町という地名に残るように、旧長良川が流れていた所でもあります。古来から、この地は水とのたたかいに終始して来たのであります。

先人達が汗と英知をかたむけて堤をつくり水から守ってきた様子や、戦禍からの復興、農工業地域として充実するかたわら、長良川古川河川敷への住宅建設によって、しだいに都市化が進み、住宅地・商業地として着実な発展をとげて来たわけでございます。

地域の人々の協力と熱意を結集し、鷺山の歴史、民俗風習、更には人々の貴重な体験・教訓等あらゆる分野について網羅され、先人たちが郷土を守り、発展に尽くされた尊い姿をこの書物の中から見出すことができることは誠に意義深

いものがあり、これらがこの地の今後の発展に大きな役割を果すものと確信するものであります。

ここに本誌が、より多くの人々に活用されることを願うとともに、この鷺山地域が豊かな歴史と自然の中で益々発展を続けてゆくことを心から願ひ、発刊にあたっての私のお祝いのことばといたします。

昭和六三年一月一日



発刊のことば

鷺山自治会連合会会長
鷺山郷土史編集委員長

岩 佐 茂

ふるさと鷺山の足跡を尋ねたいと誰しも心に抱き願って来る年も又来る年もと歳月の流れるまゝに半ば望みも失せようとする時その願いが叶えられ、ここに岐阜市鷺山の郷土史誌発刊の輝しい大業が成りました事は誠に感激の極みであり感涙にむせびお喜び申し上げる次第であります。

歴史的由緒ある鷺山は去る昭和四八年NHKドラマ「国盗り物語」ブームの主人公斎藤道三の居城が有り近世の幕明けとして全国隅々まで歴史が再確認された事は御周知の通りであります。

ふるさと鷺山は山を中心として北部に戸羽川の流れあり南には長良川の清流を目の下にしてその間に先人が村落を作り土を耕し幾多の天災に逢い苦しみと飢を生き抜いてこられたのであります、長良川は長年の間に南へ／＼と変わり現在中洲の地名を残し古川は住宅化して街となって参りました。

鷺山城址から金華山は目前に迫り戦雲立ちこめる当時の英雄土岐氏も道三公も眺めた周囲の山容は今も昔も変わりなく天の声が何かを語る様な松風が吹き荒れています。

遠く恵那山を望み百々ヶ峰が手前にひかえ城田寺の山々が走り山波は続く根尾の山々の遠くに白山が望まれる西口は

伊吹の靈峰を眺め養老山脈が南に消えて行くこの景觀は、祖先先人から現在も山に登った人の眺めは同じく、脳裡に焼きつくことでありましよう。私達は鷺山に生きた祖先先人達の幾多の貴き労苦と体験と教訓を少しでも知り、その史実を尋ね貴重なる資料を探し求め後世に伝えようと努力致して参りましたが、昔を知る文献は少なく年とともに歴史的な資料も消失し幾多の古老も郷土を語ることなく静かに此の世を去られて行きました。鷺山の爲誠に痛恨の限りであります。

幾星霜の世に脈々と生きた素晴らしい歴史を持つ鷺山の山に昭和五九年より校下の心ある方々の尊い奉仕により桜の植樹が進められ未来の鷺山に向かって咲き誇れと心こめて植えられて来たのであり、そして歴史の山として後世に伝え、この郷土史誌と共にふる里鷺山を愛する方々に申し送る事が出来るのを心からの念願とする処であります。

今年は岐阜市制百年の意義ある年に当り又昭和六〇年には岐阜市合併五〇周年の記念事業の一環として郷土史誌編集が発起され発足と相成ったのであり、意義ある年に此の郷土史誌が鷺山に育ち生きる多くの皆々様の手に渡り、宝典として誇りを伝え益々鷺山校下の発展に寄与することが出来ますれば誠に幸に存ずるものであります。

刊行に際し監修に多大なる尽力を賜りました吉岡先生に衷心より厚く御礼を申し上げますと共に資料提供に御協力を戴いた方々、執筆に御尽力下さった諸先生、編集委員の方々の並々ならぬ御尽力に深甚の感謝を申し上げ、寝食を忘れての編集事務局各位の御尽力に対して深く敬意を表してやみません。

昭和六三年 一月一日

監修の辞

吉岡 勲

鷺山といえ、山の上の小学校でなつかしい。姉が昭和初期に教員として勤めていた。美濃北方から電車で通っていたが、古川が増水して徒歩出来ないことも度々であった。白足袋に鼻緒の赤色がしみついて、鮮やかな模様を浮き立たせていた。一度は一緒に学校へ登った。こじんまりした運動場に平屋の学校だった。

辱知の天野敬也氏が鷺山広報会連合会長岩佐茂氏と鷺山の歴史を監修するよう来訪された折、嘗ての日の姉スナオの面影が浮かんできてなつかしかった。四〇年前に亡くなった姉の供養にもなればと思いきった。

鷺山の歴史は今まで書かれたことが無かった。新しい資料の発見も大した期待は持たれなかった。県史・市史の編集の過程で大体予見出来た。自治会連合会長からは戦後の鷺山に重点を置いてほしいと要望された。

編集委員会では嘗て職を同じくした方々の多くと協議した。これらの方々に協力すればと安堵する。委員は自身で調査し原稿を記したり、原稿依頼に奔走されたりした。中でも天野敬也・加納宏幸両氏の努力はめざましい。天野敬也氏は鷺山の歴史を構想され、原稿の草案を既に書かれ、写真を集められていたが、委員が手分けするに当って、史料として快く提示され、百方尽力して事を進められた。委員会の連絡を取り、不明の点は確かめ、事務局として采配された。天野氏がおいででなかったら恐らく本書は陽の目を見ることが出来なかったであろう。加納宏幸氏は私にとって長い知

友であるが、現在岐阜県歴史資料館長として油の乗った年輩である。温厚な性格で、校下の住民として奉仕的献身され、多量の原稿を書き上げられた。本書の筋金となった一人である。

各務義章氏を始め、その他の委員として例外では無い。私は寄せられてくる原稿をそのなつかしさに涵りながらまとめた。かくて編集は終った。

内容はページ数の関係から圧縮を餘儀なくした部分があり、また重複した部分は整理した。そのため趣意をそこねた部分があることを懼れる。不行届きは私の力不足にかかる。

とまれ、鷺山の史誌は刊行された。将来はよりよいものを目指して刊行を重ねるであらう。御批正を賜りたい。

昭和六三年三月

凡 例

一、本書は岐阜市鷺山の原初から現在までの史的变化を一冊にまとめたものである。

一、鷺山の歴史については従来印刷されたものは無い。僅かに市橋某氏の鷺山史稿の綴りがあるが、主内容は昭和七年の鷺山小学校の教育計画案、昭和八年の鷺山村概況・鷺山村経済更生計画書・鷺山村更生計画調査書・鷺山村産業組合五ヶ年拡充計画書のプリントを綴り込んだもので原稿化されていない。昭和八年村更生が全国的に叫ばれた折の資料に過ぎない。この資料と鷺山村役場統計一覧表（永久保存、明治末から昭和一〇年まで年次ごとに一枚）を近代以降の骨格とした。近世以前について既知の史料以外の新しい発見は委員の努力も空しくほとんど無かった。

下土居・鷺山・正木と川岸よりかかった小集落には華々しい足跡が無かった為かも知れない。鷺山といえば斎藤道三を連想させるが、その史料とて新しいものは無かった。こうした乏しさの中に、委員は励まし合って、自身にも記述したり、筆者を依頼してまわった。その總力の結果が本書である。

一、本書は鷺山の歴史を記述して内容を一二章に分けた。章の下は節であるが、節の下は項は数字の一・二・三で示した。目を記した部分もあるが、最少の単位はゴチで標示した。

一、文体は「である」調に統一した。

一、文中の敬称は一切はぶいた。但し執筆者名及び写真提供者は△△氏とした。原稿執筆者については原稿に署名のある向きに限って記載した。

一、数字は原則として千百十を省略し、二十五万四千二十三を二五万四〇二三とした。億・万の文字は読みの便宜を考えて付けた。概数の場合は三千や二百を使用したこともある。

一、年号は安政六年（一八五九）と原則として西暦を附記したが、明治以降は繁煩をおそれて西暦の付記をやめた。

一、米・瓦・km・cm²は原則として使用しないで、 坪 ・ 坪 ・ 坪 ・平方 坪 を使用した。 $\%$ も 割 を使用した。

岐阜市鷺山史誌

題字

岐阜市長

蒔田

浩

岐阜市長

蒔田

浩

鷺山自治会連合会長

岩佐

茂

序文

監修の辞

勲

（口絵）

凡例

内容

第一章 鷺山の自然環境

第二節 位置

位置（一）

目次

第二節 地形・地質……………四

地形の概況(四)……………中連山地(五)……………平地(五)……………秩父古生層(五)……………沖積層(六)……………川筋の変遷
(六)……………地質構造(六)……………鷺山地域の地質構造(一〇)

第三節 気候……………一〇

温和な気候(一〇)……………風(一二)

第四節 生物……………三

概況(一二)……………動物(一四)……………植物(一五)……………池沼(一七)……………鷺山一番地の土居と池(一九)……………今もその面影残
れる松林(二〇)

第二章 古代・中世と当地域……………三

第一節 古代……………三

遺跡・遺物からみた当地域(三)……………方県郡の成立(三)……………東山道の道筋(五)

第二節	中	世	三七
-----	---	---	----

名田福光と鷺山(二七)	土居の土豪土居氏(二〇)	鷺山城(二九)	土岐頼芸と斎藤道三(三三)	正木御坊(三三)	戦国末の当地域(三〇)	土居城(三七)	村名の由来(三〇)	地名の由来(三九)	鷺山の 新町名(四二)
-------------	--------------	---------	---------------	----------	-------------	---------	-----------	-----------	----------------

第三章	江戸時代の当地域	四五
-----	----------	----

第一節	江戸時代の村支配	四五
-----	----------	----

徳川家康の美濃支配(四四)	正木村の支配状況(四六)	鷺山村の支配状況(四七)	下土居村の支配状 況(四七)
---------------	--------------	--------------	-------------------

第二節	支配者の系譜	四六
-----	--------	----

一、慶長・元和期の領主

大久保長安(四八)……石原清左衛門一重(四九)……日根野左京高継(四九)……石川光忠(五〇)……堀直寄(五〇)……加納藩奥平氏(五一)……尾張藩主初代徳川義直(五一)

二、それ以後の領主

(イ) 加納藩〔大久保加賀守忠職(五五)……戸田丹波守光重(五五)……戸田丹波守光永(五五)……戸田丹波守

光熙(五)	安藤対馬守信友(五)	安藤対馬守信尹(五)	安藤対馬守信成(五)	(四) 尾張藩
〔歴代の尾張藩主(五)〕	尾張藩主の岐阜御成(五)	尾張藩の地方支配(五)	石河氏支配(五)	
……(イ)幕領〔笠松代官(六)〕	大垣藩預所(六)			

第三節 村 政	六四
---------	----

村役人の立場(六)	正木村の村役人(六)	鷺山村の村役人(六)	下土居村の村役人(七)
-----------	------------	------------	-------------

第四節 水 災	七一
---------	----

一、水をめぐる当地域の環境

当地域をとりまく川(七)	往時の長良川(七)
--------------	-----------

二、当地域の水害状況

水害一覧(七)	枝広の大洪水(七)	長良川役所の移転(七)	庄屋記録からみた水害状況(八)
……洪水時の夫食米(八)	正木・鷺山・下土居村の水害状況(八)		

三、治水と当地域

当地域の堤防(八)	堤・猿尾の修覆(八)	正木村新規小土手築立にかかわる約定書(八)	曾我屋横土手の築堤(八)	板谷川の築堤(八)
-----------	------------	-----------------------	--------------	-----------

第五節 村の生活	九三
----------	----

一、当地域の村の状況

天下・慶長期の村の状況(九三)……中島両以記文等に見える鷺山(九四)……諸書にみる当地域(九四)……

正木村(九五)……鷺山村(九六)……下土居村(九六)……村明細帳にみる当地域(九六)

二、当地域の村民生活の一端

農民の階層(九六)……田畑作付の様子(一〇〇)……村借りと熱田御詰粃(一〇一)……下土居村と助郷(一〇三)

……江戸時代人口の趨勢(一〇三)……美濃国仏飯二十八日講(一〇三)

第六節 当地域の社寺	一〇四
------------	-----

一、神社

(一) 鷺山区の神社

(1) 旧村社北野神社(一〇四)……北野神社の造営(一〇五)……宮司と年中行事(一〇七)……(2) 八幡社(一〇八)

(3) 津島社(一〇八)……(4) 伊邪那美命社(一〇八)……(5) 秋葉神社(一〇八)……(6) 秋葉神社(若水町)(一〇九)……(7)

秋葉神社(鷺山一七六九)(一一〇)

(二) 正木区の神社

(1) 旧村社白山神社(一一)……造営奉祝(一二)……白山神社遙拝所(一二)……(2) 社宮神社(一二)……(3) 貴

船神社(二三)……(4)天白社(二三)……(5)秋葉神社(正木一三〇四)(二四)……(6)秋葉神社(正木一三五九)(二四)……(7)秋葉神社(正木二丁目)(二五)……(8)愛宕神社(二五)……(9)秋葉神社(正木二三八の二)(二五)……(10)上光神社・竜神社(二六)……(11)竜神(二六)……(12)秋葉神社(正木一五〇七)(二七)

(三) 下土居区の神社

(1)旧村社若宮八幡社(二七)……(2)社宮神社(二七)……(3)神明神社(二八)……(4)秋葉神社(二〇二の二)(二八)

二、寺院

(1)正木御坊(黒野別院)(二九)……(2)白鷺山法光寺(三〇)……(3)安養寺(三三)……(4)影現寺(三五)……(5)心洞寺(二六)……(6)正明寺(廃寺)(三九)……(7)その他の堂宇(救世観音堂(三〇)・地藏菩薩(鷺山四丁目)(三〇)・地藏尊(鷺山二三四)(三三)・一番町地藏尊(三三)・子安地藏と咳留地藏(三三)・地藏尊(鷺山二〇八)(三三)……馬頭観音(下土居)(三四)……馬頭観音(鷺山)(三四)……馬頭観音(正木)(三五)……大森薬師小堂(三六)

第四章 近代の当地域 ………………三七

第二節 正木村・下土居村・鷺山村の三村時代 ………………三七

一、近代から現代までの当地域人口

戸口推移の概観(三七)

二、維新期の当地域

明治維新と笠松県の設置(二四四)……正木村の様相(二四四)……下土居村の様相(二四四)……三カ村の状況(二四八)……小学義校の創設(二四八)

三、明治一四年の実況

町村略誌の編集経緯(二五〇)……下土居村の実況(二五〇)……鷺山村の実況(二五三)……正木村の実況(二五七)……明治前期の村況

大小区制施行(二六三)……区画(二六三)……権区长(二六三)……地租改正(二六六)……土地の丈量作業(二六六)……地價調査(二六七)……地券交付(二六八)……三新法の施行(二六九)……戸長公選(二六九)……官選戸長と連合戸長役場(二七〇)……当地域の農業(二七二)

五、鷺山村の成立

方県郡の分割問題(二七三)……正木村他二か村組合役場の成立(二七五)……郡廃止と郡界変更(二七六)……鷺山村の成立(二七六)

六、濃尾大地震と明治二九年の水害

濃尾大地震の概要(二七八)……大地震と被害状況(二七八)……森田草平の記す地震(二八八)……明治二九年の水害(二八二)

第二節 明治期の鷺山村……………一五

明治期の村長・助役・収入役(一八五)……………鷺山村統計一覽表(一八七)……………明治後期の土地状況(一八七)……………明治期の戸口(一九〇)……………明治期の農業(一九一)……………養蚕業と養鶏業(一九五)……………林業と水産業(一九五)……………工業の他、その他の産業と交通(一九六)……………鷺山村の財政(一九六)……………明治期の諸税(一九六)……………鷺山村役場吏員(一九六)……………鷺山村村会議員(二〇〇)……………その他のこと(二〇〇)……………鷺山村信用購買販売利用組合の設立(二〇三)……………正木村外二か村組合立正木尋常小学校の創立(二〇四)……………明治後期の鷺山尋常小学校(二〇四)……………鷺山尋常小学校の経費・資産(二〇六)

第三節 大正期の鷺山村……………二〇九

(一) 大正期の行財政

大正期の村長・助役・収入役(二〇九)……………大正期の鷺山村役場吏員報酬(二一〇)……………大正前期の財政状況(二二三)……………大正後期の財政状況(二二四)

(二) 大正期の産業

大正前期の農業(二二五)……………大正後期の農業(二二六)……………養蚕業・養鶏業(二二九)……………林業と水産業(二三〇)……………工業・その他の産業・交通(二三一)……………草競馬(二三二)

(三) 大正期の税収と基本財産

第四節

大正前期の市町村税滞納矯正(三三)･･

昭和期の村長・助役・収入役(四五)	鷺山村更生計画書(四六)	鷺山尋常高等小学校の教育計画
-------------------	--------------	----------------

(三七九)……昭和八年の鷺山村概況(三七九)……安全バスの開通(三〇五)……昭和初期までの鷺山村信用購買販売利用組合(三〇五)……鷺山村役場の移築(三〇六)……合併前後の鷺山村と青年団(三〇七)……岐阜市への合併(三〇九)……昭和八年から昭和一四年にかけ古々川、古川締切り後の鷺山(三三三)	
---	--

第五章 戦時下の鷺山	三三四
------------	-----

第一節 戦時下の行政	三三四
------------	-----

郡団体事務所(三三四)……地方事務所(三三五)……岐阜市役所(三三五)……鷺山支所(三三六)……鷺山農業会の設立(三三六)……鷺山農業会の事業(三三〇)	
--	--

第二節 長良川の締切り	三三〇
-------------	-----

水災と当地域(三三〇)……長良川改修工事の促進(三三三)……長良川の締め切り(三三四)……總裁の県消防組検閲(三三九)	
---	--

第三節 鷺山小学校から国民学校へ	三三九
------------------	-----

戦時中の小学校(三三九)……小学校が国民学校となる(三三九)……国民学校の教育の内容と方法(三三九)……(ア)教育課程(三三九)……(イ)教科書(三四〇)……(ウ)勤労学習(三四〇)……(エ)昭和一三年頃の学校行事(三四〇)	
--	--

第四節	青年の鍛練	三六
-----	-------	----

実業補習学校(二三〇)	青年訓練所(二三七)	青年学校(三四〇)	鷺山の河川敷に高等飛行学校(三四五)
グライダー飛行養成所の鷺山(三四九)	大日本飛行協会岐阜支部発足(三五〇)		

第五節	出征と応徴	三五
-----	-------	----

兵役(三五)	徴兵検査(三五)	応召と出征(三五)	応徴(三六)	軍用保護馬の鍛練(三五八)
--------	----------	-----------	--------	---------------

第六節	生活の統制	三六
-----	-------	----

生活にかぶさる戦争(三六〇)	町内会・隣組制度の推進(三六)	経済統制(三六九)	大政翼賛会(三七〇)
----------------	-----------------	-----------	------------

第七節	戦時への訓練	三七
-----	--------	----

鷺山村在郷軍人会(三六三)	軍事訓練(兵式訓練)(三六四)	竹槍訓練(三六五)	防空と防火訓練(三六五)
防火演習の実態(三六七)	防空演習と避難訓練(三六七)	岐阜空爆(三六九)	国防婦人会の活動(三九〇)
岐阜市銃後奉公会(三九一)	出征軍人の歓送迎と英霊の出迎えと葬儀(三九一)		

第八節 忠魂碑と遺族会	三九四
-------------	-----

忠魂碑の建設(三九四)	忠魂碑の移転(三九七)	戦前の遺族(三九八)	戦後の遺族(三九八)	県・市及び
鷺山の遺族会(三九九)	戦没者名簿・帰還の一記録(四〇五)	奉公の塔(四一〇)		

第六章 現代の鷺山	四二三
-----------	-----

第二節 市の計画と鷺山の戸口	四二三
----------------	-----

岐阜市の復興都市計画(四二三)	岐阜市の復興事業(四三四)	戸口の推移(四三八)	土地利用計画(四二〇)
交通計画(四三三)	岐阜市行政と鷺山支所(四三三)	岐阜市鷺山支所移転(四三四)	

第二節 広報会の発足と活動	四三六
---------------	-----

連合広報会の結成(四三六)	単位広報会(鷺山三丁目・正木二丁目・古川町)の内容(四三八)	鷺山広報会連合会(四三五)	歴代広報会長(四四一)	岐阜市都市美化推進連絡協議会鷺山支部(四五三)	岐阜市社会福祉協議会鷺山支部(四五三)
---------------	--------------------------------	---------------	-------------	-------------------------	---------------------

第三節 農 地 改 革 四六六

占領の第一歩(四六五).....終戦前後の食糧事情(四六五).....農村の実態(四六五).....農地改革(四六六).....非農家の実態(四六六)

第四節 古川川敷の住宅建設 四六一

戦災による羅災状況(四六一).....市の住宅計画方針(四六一).....古川川敷を利用しての市の計画(四六一).....住宅営団の充実(四六三).....岐阜市内の戦災復興状況(四六四).....市営住宅の充実(四六六).....引揚者厚生住宅の充実(四六六).....県営住宅の建設(四六六).....工場の進出、官庁・一般住宅の建築(四六七)

第五節 団地の草分け(思い出) 四七五

清洲町の思い出(国枝定雄)(四七五).....県営住宅入居当時の思い出(宮部信一)(四六八).....入居時の思い出(水野はる)(四六三).....入居時の思い出(熊崎すみ)(四六六).....四〇年前入居の想い出(高井敏雄)(四六八)

第六節 区画整理と道路網 四九〇

川北地区の現状(四九〇).....耕地整理と土地区画整理(四九〇).....鷺山第一土地区画整理組合設立準備委員会(四九二).....鷺山第一土地区画整理組合の設立と事業(四九二).....土地区画整理前後の地目別対照(四九四)

..... 鷺山第一土地区画整理組合の事業を終つて(四九四)..... 鷺山第一土地区画整理組合解散總會(四九七)	
..... 住宅街の発展(四九八)..... 県道・市道の整備(五〇一)..... 市営バス運行(五〇三)..... 岐阜乗合バス(五〇六)	
官公署の設置と充実.....	五〇七

(1) 岐阜簡易保険事務センター..... 開局まで(五〇七)戦後の歩み(五〇八)簡易保険事務センターにおける所管業務(五〇九)沿革(五〇九)..... (2) 鷺山にかかわる警察の歴史(五一二)..... (3) 岐阜北消防署(五四四)..... (4) 岐阜北郵便局(五五六)..... (5) 岐阜県総合運動場..... 沿革(五五七)運動施設(五二〇)あとがき(五二六)..... (6) 岐阜拘置支所..... 沿革(五三二)概要(五三二)..... (7) 北部体育館(五三三)..... (8) 岐阜少年鑑別所(五四四)..... (9) 岐阜身体障害者更生指導所(五三七)..... (10) 身体障害者更生相談所(五二九)..... 身体障害者福祉(五三〇)..... (11) 鷺山保育所(五三二)..... (12) 希望ヶ丘学園(五三三)..... (13) 清流園(五三五)	
--	--

第七章 産業の発展.....	五三七
----------------	-----

第一節 農 業.....	五三七
--------------	-----

農家戸数の動き(五三七)..... 農作物の推移(五三七)..... 主食の作付状況(五三九)..... 鷺山における米づくり(五三九)..... 鷺山で栽培された米の品種(五四三)..... 鷺山における農業用水(五四三)..... 食糧不足と米穀供出量(五四三)..... 鷺山における大根づくり(五四五)..... 守口大根(五四六)..... 蔬菜の流通(五四七)..... 岐阜市夜間市	
--	--

場組合(五四八)……母栽培(五四九)

第二節 養 蚕 業

五四九

鷺山村の地形と養蚕業(五四九)……昭和二〇年代の養蚕(五五〇)……桑園(五五一)……養蚕の実態(五五二)……鷺

山養蚕組合(五五二)……養蚕の衰微(五五三)……鷺山の養鶏(五五四)……和傘骨製造加工(五五五)

第三節 鷺山の商工業の発展

五五七

鷺山農協の発足(五五七)鷺山農協の運営(五五九)……鷺山商店街の発展(五六〇)……川島紡績株式会社の推移

(五六〇)……川島家政高等学校の設立案内書(五六〇)……天皇皇后両陛下の川島紡臨幸(五六〇)……川島紡正

木工場の運営(五六二)……ショッピング・センター着工(五六三)

第八章 学校・社会施設の充実

五七五

第一節 学 校

五七五

一、鷺山小学校

鷺山小学校の沿革(五七五)……校歌・校旗(五七五)……鷺山小学校創立八五周年記念(五七六)……歴代鷺山小
学校教育目標と研究主題(五七六)……昭和六二年度学校教育計画(五七七)……鷺山小学校歴代教職員

(五九七)……九・一二豪雨と小学校(六〇五)……鷺山小PTA歴代役員(六〇八)

二、青山中学校

概要(六〇九)……校名の由来(六〇九)……青山中学校の沿革(六一〇)……校地及び校舎(六一二)……青山中学校

歴代校長と生徒数(六二三)……昭和六二年度青山中学校教育計画(六二三)

三、島中学校

開校・校名・校区の変遷(六二七)……体育系クラブ活動での校風昂揚(六二八)……台風・豪雨の度毎に浸

水(六二九)

四、長良中学校

六・三・三制の発足(六三二)……第七中学校の新設(六三三)……鷺山校下の中学生(六三三)……校下の父兄の

陳情(六三四)……歴代学校長(六三四)……長良中学校生徒歌(六三四)……南舎火災(六三五)……年度別生徒数・

学級数(六三五)……育友会(六三五)……主な校史(六三六)……長良中学校の分離問題(六三七)

第二節 災害と防除……………六三〇

鳥羽川の昭和期の水害と復旧(六三〇)……伊勢湾台風(六三六)……昭和三五年一一・一二号台風(六三七)……昭

和三六年六月梅雨前線豪雨(六三六)……九・一二の風水害(六三六)……九・一二水害の一記録(六四一)……正木

排水場の設置(六四三)……鷺山村水防団の結成(六四四)……鷺山村水防団の活躍(六四八)

第三節 民 生……………六五四

岐阜市の水道普及(六五四)……………下水道の施設(六五五)……………下水道敷設の概要(六五五)……………保険衛生の進展(六五六)
………鷺山校下の医療薬業(局)機関(六五〇)……………体育振興会(六五九)……………視聴覚委員会(六六三)……………道路網の充
実と自動車の発展(六六四)……………道路網の整備とバス通行(六六四)……………環状線の進行(六六五)……………自動車の発展
と交通事故(六六七)……………交通安全施設(六六八)……………鷺山交通安全協会(六七〇)

第四節 岐阜国体と鷺山……………六七三

岐阜国体主会場と鷺山(六七三)……………開会式・閉会式を盛り上げた校下民(六七三)……………岐阜国体への校下の協
力(六七五)……………伸びゆく県民運動が校下の発展に寄与(六七六)……………岐阜国体の遺産(六八〇)

第九章 盛り上がる主体的活動……………六八一

第一節 公民館活動……………六八一

鷺山公民館の由来(六八二)……………建物の新築(六八二)……………年間の行事(六八五)……………鷺山公民館の組織と働き(六八五)
………部落公民館の設置(六八七)……………鷺山公民館歴代職員(六八七)

第二節 婦人會	六八八
婦人會の由來(六八八)……婦人會の年譜(六八八)……婦人會の現況と今後の問題(六八九)……鷺山婦人會の會則・行事・役員・會計(六九〇)	
第三節 鷺山青年團	六九四
終戦後の青年団活動(六九四)……鷺山音頭(六九八)……鷺山青年団歌(七〇〇)……昭和二〇年以降歴代青年團長(七〇〇)	
第四節 鷺山校下子ども會育成會	七〇一
子ども會の動き(七〇一)……鷺山校下子ども會育成會の歩み(七〇一)	
第五節 鷺山校下青少年育成會	七〇四
青少年育成會活動の役割(七〇四)……育成會の活動(七〇五)……育成會活動の具体的な仕事(七〇六)……校下青少年育成專門部會(七〇七)……青少年育成會歴代會長・昭和六二年度役員・行事・會計(七〇七)	
第六節 老人クラブ	七二二
老人クラブの発足(七二二)……老人クラブの活動(七二二)……今後の方針(七二三)……ゲート・ボールと老人ク	

ラブ(七四)……歴代鷺山校下老人クラブ連合会長(七五)

第七節 母子福祉会 七二六

母子家庭(七二)……母子福祉会の行事(七七)

第八節 鷺山桜の会 七二八

鷺山について(七二)……鷺山桜の会結成(七二)……鷺山桜の会規約(七二)……会員加入状況(七三)……鷺

山桜の会役員(七三)

第九節 自主防災隊 七二五

自主防災隊の立場(七五)……自主防災隊の訓練(七五)

第二〇章 人物 七二七

第一節 森田草平 七二七

草平の少年時代(七七)……上京(七八)……「煤煙」まで(七九)……塩原行事件と「煤煙」(七九)……「初恋」と「十字街」(七九)……「輪廻」(七九)

第二節 昭隱会聰禪師	七四
幼時(七四)……少年時代(七四)……青年時代の修行(七三)……	
禪僧昭隱(七三)……大徳寺住職(七三)……	
正眼寺住職(七四〇)	
第三節 川島浅衛	七四三
第四節 細味菴桑原藤蔵	七四三
第一章 鷺山の民俗	七四五
第一節 農耕にまつわる民俗	七四五
鷺山の雨乞(七四四)……鷺山の休日(七四四)……お湿り休み(七四六)……	
秋上げ休み(七四六)……農休み(七四六)	
第二節 唄と踊り	七四六
鷺山音頭(七四六)……マイソングふる里の鷺山(七四九)……	
俚謡お婆々(七五〇)……子守唄(七五〇)	

第三節 鷺山の伝説……………七五二

金のにわとり(七五二)……………経塚(七五二)……………首搜しの火(七五二)……………弁慶と鷺山(七五二)……………枝広の洪水(七五二)
……………川祭り(七五二)……………總仏様(七五二)……………斎藤道三と伊自良街道(七五二)……………川港について(七五四)……………オコリ
地藏(七五五)

第四節 衣・食・住……………七五五

一、衣生活

ふだん着(七五五)……………はれ着・外出着(七五六)……………作業衣(七五五)……………婚礼衣裳(七五五)……………葬式衣裳(七五七)
洗濯・保存(七五七)……………髪型・化粧(七五七)……………染織(七五七)

二、食生活

毎日の主食(七五八)……………日常の副食(七五八)……………調味料(七五八)……………行事と食事〔正月(七五九)……………お盆(七五九)
……………祭り(七六〇)……………彼岸(七六〇)……………報恩講(七六〇)……………特別行事と食事〔結婚披露宴(七六〇)……………帯祝い
(七六一)……………七夜(七六一)……………通夜(七六一)……………棟上げ(七六一)……………仏事(七六一)……………ハウソウ送り(七六一)

三、住居

集落形成(七六二)……………家のつくりと間どり(七六二)……………玄関(七六二)……………縁側(七六二)……………土間(七六三)……………座敷
(七六三)……………奥(七六三)……………台所(七六四)……………勝手(七六四)……………柱(七六四)……………天井(七六四)……………いろり・かまど(七六五)

……燃料(七六五)……附属施設〔井戸(七六五)……便所(七六五)……小屋(七六〇)……倉(七六六)……神・仏(七六七)……
……仏壇(七六七)……建築習俗〔新築に至るまで(七六七)……地祭り(七六七)……地づき(七六七)……建前
(七六〇)……家移り(七六九)……屋根替え(七六九)〕

第五節 年中行事の二・三について……………七六九

お正月(七六九)……左義長(七七三)……津島神社の祭礼(七七五)……北野神社の堤灯祭りと茅の輪(七七五)……
お月見(七七六)

第六節 俗 信……………七七六

吉凶判断(七七六)……占い(七七七)……禁忌(七七八)……俗信(七七九)……民間療法(七八〇)

第七節 郷土の方言……………七八〇

郷土の方言(七八〇)

第二章 鷺山の都市的変遷(鷺山の将来)……………七九三

第一節 これまでの鷺山……………七九三

(一)戦前……………
(二)戦後……………

第二節 鷺山の現況	七九
-----------	----

(一)人口及び産業(七九)	……	(二)土地利用及び開発(九七)	……	(三)都市基盤(九八)	……
---------------	----	-----------------	----	-------------	----

第三節 鷺山の将来	一〇〇
-----------	-----

鷺山の歴史年表	一〇九
---------	-----

あとがき	……	編集事務局長 天野敬也	一三五
------	----	-------------	-----

編集委員・刊行委員・各種団体役員	……	奥付	一八六
------------------	----	----	-----